

進研アドの「卒業生調査」のご案内

※「Between」の記事に関連した情報をお届けしています。

●大学と社会の接点にいる卒業生の声の重要性

2018年度からの認証評価第3サイクルでは、内部質保証の実質化が求められています。つまり、自学の学修成果を検証するだけでなく、その結果を改善までつなげることが重要になります。

学修成果の検証とは、ディプロマ・ポリシー（社会との約束）の達成度を明らかにすること。学生を中心とする学内の視点だけでなく、**学外の視点も取り入れて多面的に評価することによって検証の精度が上がります。**

学外の視点としてまず、卒業生調査をお勧めします。

今春、コロナ禍の中で大学生活を経験した学生が社会に出ました。これまでとは全く異なる環境下での自学の教育が社会の要請にどの程度、応えられているのか、卒業生調査で検証する意義は大きいはずです。

●ディプロマ・ポリシーに基づく調査項目の設定を支援

卒業生調査をはじめ、大学が学外の評価を受けるうえでよく聞くお悩みは、回収率の低さです。加えて、マンパワーの問題で調査の準備や実施に伴う煩雑な実務に対応できないという声もよく聞かれます。

より本質的な課題は、「検証後の改善につなげるために何を聞いて、どのように分析すればいいかわからない」ということではないでしょうか。

進研アドは「卒業生調査」の豊富な実績にもとづいてこうした悩みの解決にお役に立ちたいと考えています。

【進研アドの卒業生調査について】

- ◆ 強み
 - ・設計から結果報告までワンストップで支援
 - ・各大学のディプロマ・ポリシーに基づく調査項目の設定
 - ・独自の比較用データの活用による客観的な分析
 - ・回収率を上げるためのノウハウ
- ◆ 学修成果の可視化に関する調査実績
 - ・480件以上（2021年度7月時点）

進研アドが提供する「卒業生調査」のポイント



貴学の**ディプロマポリシー**を加味した**項目設計**で
「学修成果を可視化」



他大学との結果比較が可能



調査回収率 平均**20%** ～



認証評価のエビデンスや学内教育改善にはもちろん、
高校教員などの外部ステークホルダーへの
情報発信にも活用可能

企画概要

卒業生の視点から、ディプロマ・ポリシーの達成度を検証し、 内部質保証サイクルの要となる「学修成果の可視化」を行います

企画概要

調査手段

アンケート調査

対象者

貴学卒業生

調査方法

郵送アンケート配布・回収

※Webアンケートフォームでの回収も可能

ポイント

ディプロマ・ポリシーの達成度や教育課題を検証し、
教育の質保証・向上につなげます

調査項目例

- ・社会から求められる能力
- ・大学で身についた力
- ・自身の成長に寄与した教育
- ・改善、強化してほしい点

参考金額

1,000名配布（回収率25～30%想定）の場合
／調査項目10問程度

280万円（税抜）～ ※郵送料、謝礼費込み

納品物

サマリー（3p）、グラフ集、クロス集計表、入力データ

【スケジュール例】

※調査実施のご決定からご納品まで
最低4か月程度期間をいただいております。

調査項目作成・準備	実査	入力・集計	報告書作成
1か月程度	1か月程度	1か月程度	1か月程度

【納品物のイメージ】

クロス集計表

すべての設問について、
属性や関連のある項目との
クロス集計を行います。

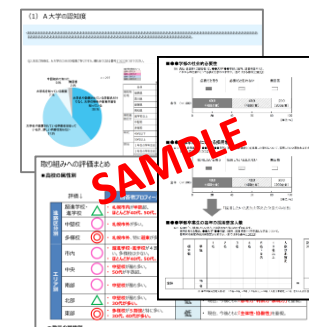
1000名の集計表(例)

属性	性別	学部	学年	卒業生	調査項目1	調査項目2	調査項目3	調査項目4	調査項目5	調査項目6	調査項目7	調査項目8	調査項目9	調査項目10
男性	女性	工学部	法学部	経済学部	文学部	理学部	農学部	医学部	歯学部	薬学部	獣医学部	工学部	工学部	工学部
1年生	2年生	3年生	4年生	卒業生	調査項目1	調査項目2	調査項目3	調査項目4	調査項目5	調査項目6	調査項目7	調査項目8	調査項目9	調査項目10

グラフ集

全体集計、結果により一部
クロス集計結果のグラフを作
成します。

サマリー

調査目的に沿って仮説の
検証や、要点をまとめます。

※上記企画は一例です。調査対象者や調査方法については、具体的な課題を共有させていただき、一緒に考えさせていただきます。
※費用は調査内容によって異なるため、具体的な内容をご相談させていただいた上で、見積もりをいたします。
※納品物として報告書にまとめる内容や形式はご相談の上決定させていただきます。

進研アド 調査の強み

①課題解決から逆算した 調査設計

進研アド独自データや、ベネッセグループが保有する入試結果、模試データなどを活用し、調査を企画、設計します。

貴学が抱える課題に向き合い、課題解決に最適な調査企画をご提案します。

②効果的で確実な 調査遂行

高等教育における豊富なリサーチ経験をもとに、ムダのない確実な調査遂行で、確実にデータを収集・報告するとともに、貴学の業務負担を軽減します。

③貴学の本質的な課題を 提示

調査結果を客観的に評価・分析し、貴学の教育成果を高め、学生募集の最適化を図るための本質的な課題を抽出する力があります。

独自データを活用した集計・分析で、企画の調査仮説に対する答えを明確にご提示します。

④教育成果の向上と 学生募集の最適化にむけた提案

教学・広報の両方の視点から課題解決のプロセスを明確にします。

大学の教育成果を向上させる提案と、高校生・高校教員から選ばれる大学になるための解決策をご提示することができます。

卒業生調査に関するご質問・ご要望等ございましたら、
以下までお問い合わせください。

(株)進研アド 教学支援室 マーケティングリサーチ部

TEL : 03-6671-9385 (東京) 06-6345-7126 (大阪)

〈9:30～17:30 土日祝日除く〉

MAIL : ad-research@shinken-ad.co.jp

または貴学担当まで